

個性とはいうけれど

個性、個性とはいうけれど勉強も個性だという、ならばスポーツも個性だといわれるのであろう。

勉強嫌いなものはスポーツをやればよいそれも個性だということである。だが今のコーチは自分のやり方のみを教えようとする、選手は自分自身がいないところで活動している。選手に会った指導というものがある。それが個性を伸ばすということにつながる。

個性を伸ばすのも、つぶすのもコーチである。コーチは選手の技量、などあらゆることを考え、教えを指導していかなければならない。あくまでも主体は選手自身であるからだ。コーチは選手の個性を伸ばすことこそ大切な事柄であろう。決して自分中心のコーチングであってはならない。今、選手をみると個性的な選手が少なくなっている。

(2009/12/21)